



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。法学類月報第40号では、定年退職を迎える櫻井利夫先生のエッセイ、模擬裁判会外部公演の様、エジンバラ法律英語研修の第2弾レポートをお届けします。



◆◆教員エッセイ◆◆

第7回 櫻井利夫先生（西洋法制史）

◆研究の軌跡を振り返る 一定年退職を迎えるにあたって◆

学部学生の時に最も大きな関心を向けたのは、西洋中世の都市であり、これがその後大学院時代と金沢大学に赴任後数年間の研究テーマとなった。西洋の都市は、法制定権、裁判権、行政権をもつ相対的に自律的な都市ゲマインデ（共同体）として把握され、この点がアジアの都市との決定的な相違であるが、この団体的結集を可能にした原因ないし起動力は、全市民による平和維持のための誓約共同体の結成、つまりキリスト教信仰であることを知った時の興奮を忘れることができない。この研究を通して、東洋社会と対比して西洋社会における歴史の起動力が重要な問題として浮上してきた。

その後四半世紀、研究の主力は、戦後日本の学界で未解決の問題として残されてきたドイツ中世盛期の城塞支配権、フランス史に言うシャテルニー（城主支配領域）に注がれたが、これも学部学生以来の懸案であった。ただこの問題の研究は、強く要請されてきたにもかかわらず、ドイツ史では史料の伝承状況が著しく悪いために、難渋を極めるものであった。幸いにも退職前に、この研究にうってつけの史料集に偶然にも巡り会うことができ、城塞支配権の歴史的意義について一定の結論を出すことができたのは望外の喜びである。要するに、城塞支配権は「古典荘園制」から純粹荘園制への移行という経済史の変動に対応しつつ、歴史の起動力つまり封建国家（レーエン制国家）から領邦国家（ランデスヘルシャフト）への橋渡しをする意義をもつものと評価されるべきことが分かったのである。

現在、国の内外で大きな歴史的変動期に差し掛かっていることが実感される。この周辺世界の状況を踏まえながら、西洋中世に大学が誕生して以来研究教育は普遍的価値のために営まれてきたことを銘記しつつ、退職後も研究を続けてゆきたい。



模擬裁判会外部公演 2017 「桃太郎はヒーローか？」

模擬裁判会は2月18、19日の2日間にわたり金沢市内の公民館や図書館にて外部公演を行いました。



実際の裁判に基づいた例年の演目から一転、今回は昔話「桃太郎」を題材とした裁判劇です。

「鬼を退治し財宝を取り返した村のヒーローが裁判にかけられてしまう!」。この裁判のポイントは「桃太郎が鬼に対して行った行為が正当防衛として認められるか」です。私たちが特に力を入れたのは、検察官が証拠を基に桃太郎の犯人性を立証していくシーンで、観客の皆さんにとっても印象深い場面になったかと思います。シナリオは最後の判決までは含まず、劇を終えた後に、論点や判決について話し合ってもらう機会を設けました。小学生から大人の方まで、それぞれの判断材料を基に自分の考えをまとめ、グループ内での活発な発表がされていました。

新しい取り組みのため、法律用語や難しい言い回しをいかに聞き手に分かりやすく伝えるか等、制作や公演の準備の過程で困難を強いられることもありましたが、無事公演を終えることができ良かったです。普段法律や裁判に馴染みのない方にとって、今回の裁判劇が少しでも法学に関心を持っていただけるきっかけとなれば、と思います。

長谷川大稀(法学類2年)

Edinburgh 特報 その2

エジンバラ大学法律英語研修を終えて

「デュラバツ」——エジンバラ滞在初日の
買い物の際、店員に早口で言われた一言です。
私は聞き取れず、とりあえず「No.」と一言。

そのときの店員の怪訝な顔を私はずっと忘れられませんでした。

「Would you like a bag? (買い物袋はいりますか)」と言われていることに気付いたのは3日目のことでした。

スコットランドの首都エジンバラは、小さな都市で非常に治安が良く、冬の天気は金沢と似ています。私たちはそこで、法律英語とともにイギリスの法律の仕組み、民法や刑法を学びました。日本での事前授業で予備知識を身につけたとはいえ、現地イギリスの有名な事例を検討し議論するという、大変難易度の高い授業でした。最初の頃は、リスニングと拙いスピーキングで精一杯でしたが、中盤以降は積極的に議論とプレゼンテーションができるようになりました。法律問題について英語で自己の見解を主張することで、一般的な語学留学とは違う成長があると思います。

休日は、隣の都市グラスゴーや大都市ロンドンに日帰りや泊りがけで観光する機会も多いです。友人と一緒に買い物をし、名所を見て、夜は街のバーで盛り上がりました。勉強だけでなく、英国そのものを楽しむ時間も充実していて、非常に有意義な時間を過ごせました。

出発日のいきなりのチケットトラブルや帰りの飛行機でのロストバゲッジなど、思いがけない事件もありましたが、それも貴重な体験の一部です。来年もぜひ参加したいと思っています。

米澤京太(法学類3年)



法学類HP
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 法・経済学務係 (n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。